

Hirata

The Global Production Engineering Company

2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

平田機工株式会社



I. 決算状況

2020年3月期 第2四半期

Hirata



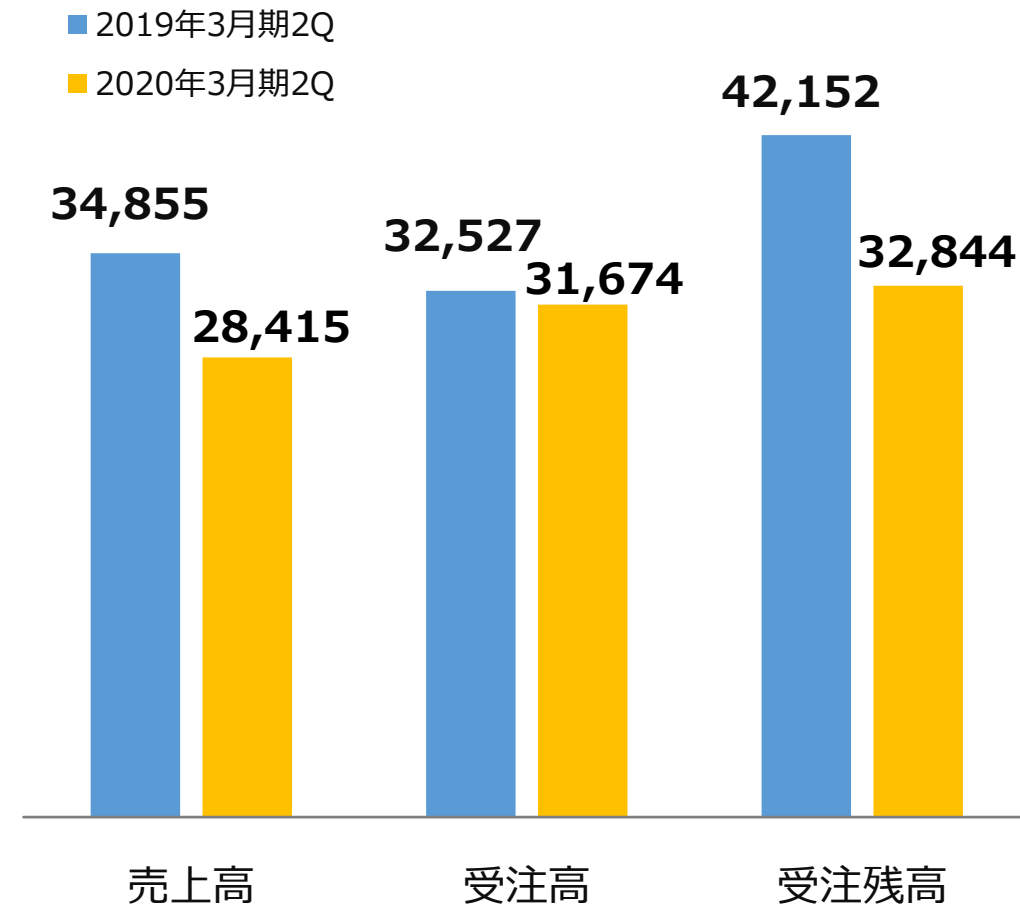
決算概要

世界経済の減速を背景とした顧客の設備投資意欲の抑制など、受注環境の変動により自動車関連や半導体関連などの売上高は、前年同期を下回る水準で推移し、減収減益となった。

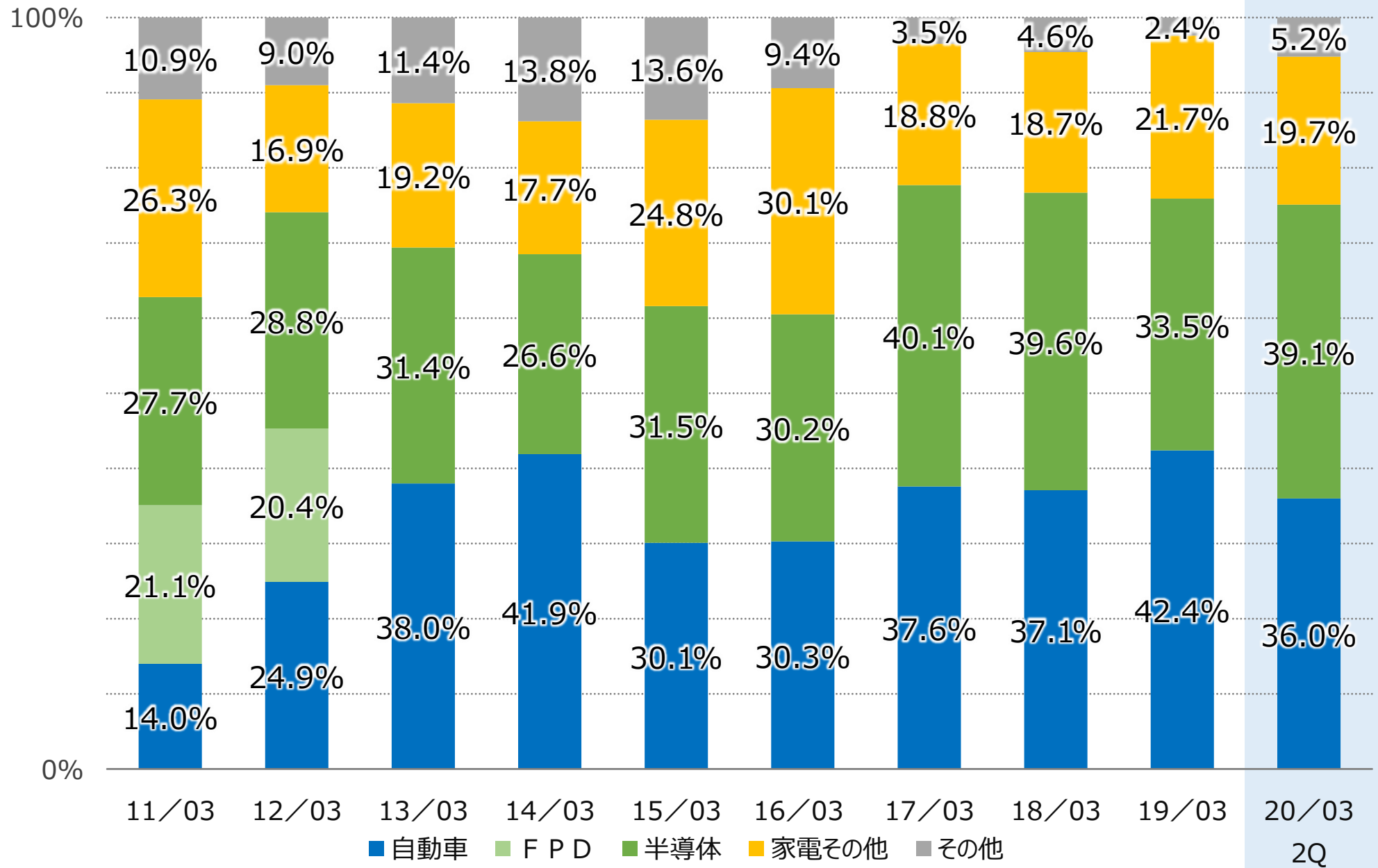
(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2019年3月期 2Q実績	2020年3月期 2Q実績	増減率
売上高	34,855	28,415	△18.5%
営業利益	3,525	1,104	△68.7%
経常利益	3,723	1,250	△66.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,614	765	△70.7%

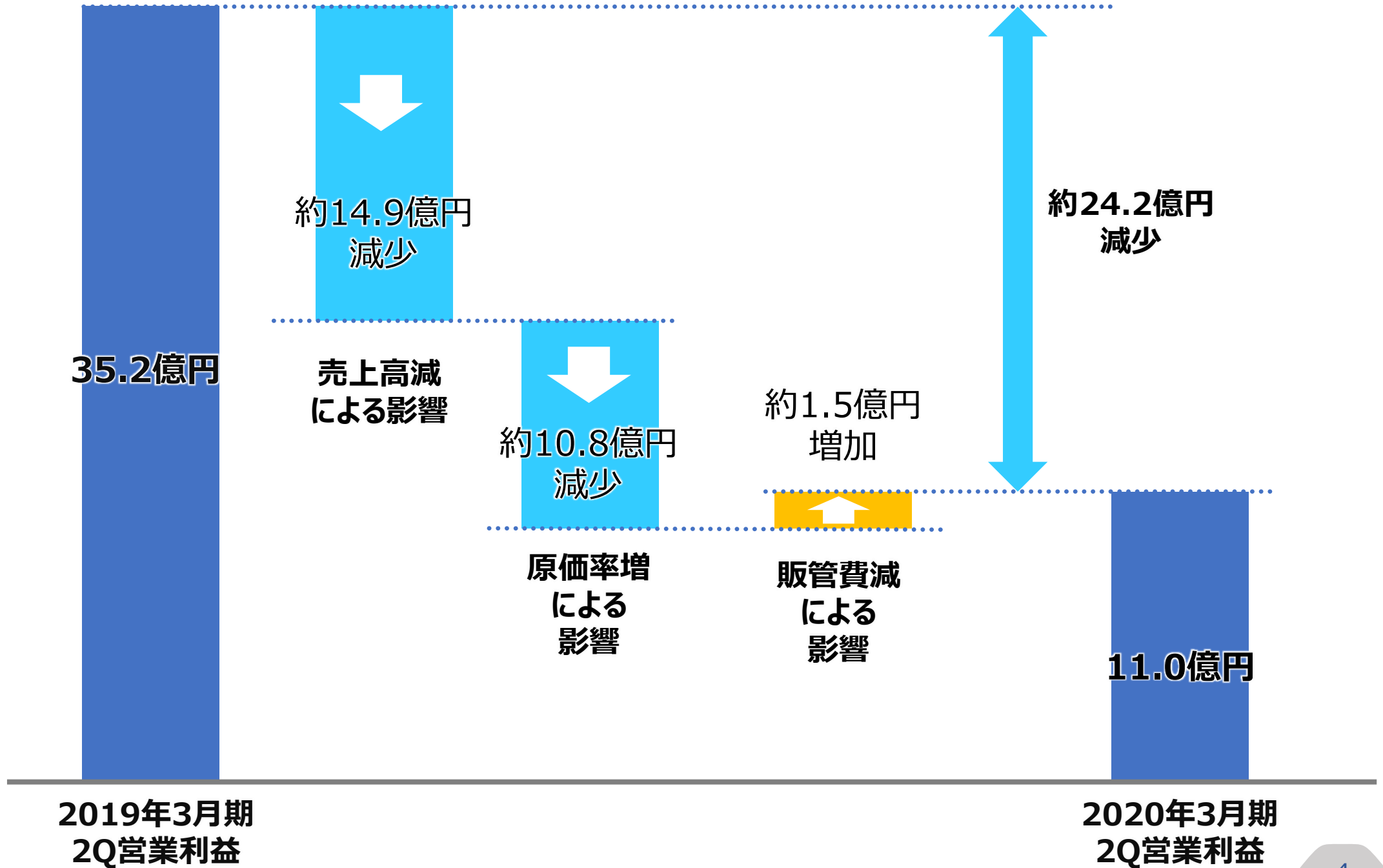


I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合

I 決算状況 営業利益の増減要因分析



貸借対照表

(単位：百万円)

資産	2019年 3月期	2020年 3月期2Q	増減
流動資産	64,321	55,247	△9,073
固定資産	26,252	25,993	△259
有形固定資産	20,336	20,009	△327
無形固定資産	676	588	△88
投資その他資産	5,238	5,395	+156
資産合計	90,573	81,240	△9,333

負債	2019年 3月期	2020年 3月期2Q	増減
流動負債	36,718	25,031	△11,687
固定負債	7,244	10,169	+2,924
負債合計	43,963	35,200	△8,762
純資産			
純資産合計	46,610	46,040	△570
自己資本比率	50.9%	56.0%	+5.1Point

主な増減項目

資産

売上債権	△10,918
棚卸資産	+1,410
退職給付に係る資産	+428

負債・純資産

仕入債務	△4,550
有利子負債	△3,173
前受金	+606

想定為替レート

(単位：円)

想定為替レート	2019年4月1日～9月30日 実績レート	2019年10月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	108.84	100.00

株価推移

(単位：円)

株価推移	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年3月期		
			7月	8月	9月
最高	14,720	10,580	6,820	7,240	7,240
最低	8,030	4,285	5,980	5,820	6,500
末日	9,780	7,640	6,730	6,600	7,040

PER/PBR/ROE

PER/PBR/ROE	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期2Q
PER (倍)	15.26	17.33	— ※
PBR (倍)	2.26	1.72	1.60
ROE (%)	18.18	10.06	— ※

※PER・ROEについては、四半期の利益では比較に適さないため記載しておりません。

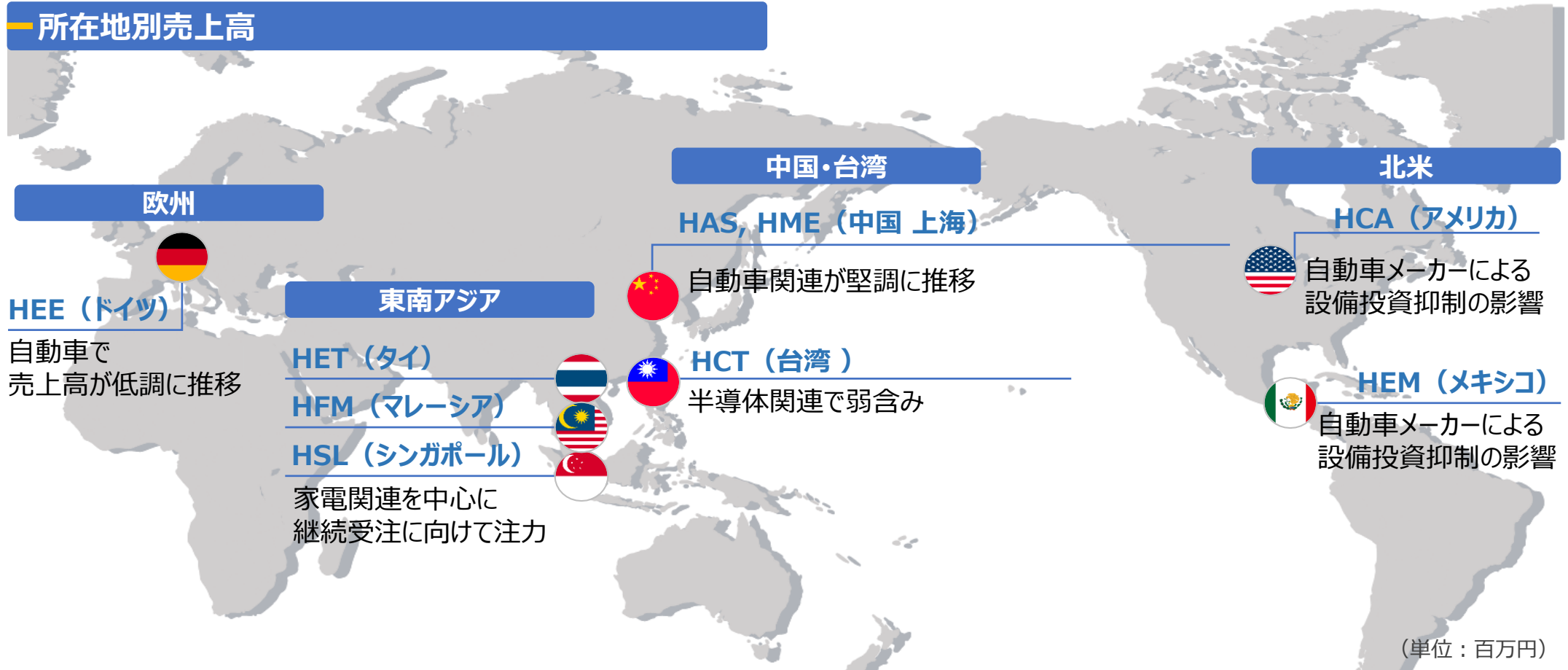
I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)

	事業部門	2019/3 第2四半期	2020/3 第2四半期	対前年同期比 増減率
売上高	自動車関連	12,120	10,224	△15.6%
	半導体関連	14,327	11,102	△22.5%
	家電関連およびその他	7,564	5,610	△25.8%
	その他	843	1,478	+75.3%
	合計	34,855	28,415	△18.5%
受注高	自動車関連	17,774	11,232	△36.8%
	半導体関連	7,763	13,323	+71.6%
	家電関連およびその他	5,869	5,522	△5.9%
	その他	1,120	1,596	+42.5%
	合計	32,527	31,674	△2.6%
受注残高	自動車関連	23,112	15,759	△31.8%
	半導体関連	9,332	10,321	+10.6%
	家電関連およびその他	9,085	6,032	△33.6%
	その他	622	731	+17.4%
	合計	42,152	32,844	△22.1%

I 決算状況 海外現地法人の状況

所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	19/3 2Q	20/3 2Q	19/3 2Q	20/3 2Q	19/3 2Q	20/3 2Q	19/3 2Q	20/3 2Q	19/3 2Q	20/3 2Q
売上高	28,386	23,348	3,044	3,075	3,175	1,781	249	210	34,855	28,415
営業利益	3,354	1,052	490	668	△344	△ 467	△13	△ 83	3,487	1,170

※営業利益の合計はセグメント間の消去を行う前の金額を表示しています。

有機EL関連・電気自動車関連状況

(単位：百万円)

	2019年3月期2Q		2020年3月期2Q	
	受注高	売上高	受注高	売上高
有機EL関連	295	4,931	6,179	3,793
電気自動車 (EV) 関連	4,276	1,617	684	1,048

●有機EL関連

半導体関連の売上のうち、有機EL関連は約34%の割合となり、前年同期比約23%減、受注高は前年同期比、大幅増となりました。

●電気自動車 (EV) 関連

自動車関連の売上のうち、電気自動車 (EV) 関連は約10%の割合となり、前年同期比約35%減、受注高は前年同期比約84%減となりました。

EV関連の受注高が第1四半期より減少しているのは、客先の計画変更によりキャンセルとなったためです。但し、減少分につきましては、その他の案件で確保しております。

— ジヤトコ株式会社からリージョナル特別賞を受賞

2019年7月17日、弊社は、ジヤトコ株式会社（以下、ジヤトコ社）より「リージョナル特別賞」を受賞しました。ジヤトコ社のトランスミッション組立ラインに、ACS思想を取り入れた設備を提案し、JSL（ジヤトコスタンダードライン）に認定されました。装置が統一され、納期遵守および品質の早期安定化を実現したことが評価につながりました。ジヤトコ社は毎年、開発・品質向上・ものづくりで貢献した部品メーカーや設備メーカーの表彰を行っており、今年度は4つの部門で合計37社が選定され、その一社に弊社が選ばれました。



ジヤトコ社よりいただいた受賞盾

第21回中国国際工業博覧会に出展

2019年9月17日～21日、中国・上海で行われた「第21回中国国際工業博覧会」に弊社ロボット部、弊社子会社のHASとHME、中国内販売代理店が共同で出展しました。出展社数は2,610社、総来場者数は18.2万人となり、新デザインのロボットを含む、6つのステーション構成からなる減速機組立デモ機を展示したHirataブースには、想定を上回るおよそ1,600人が訪れました。今後も、販路拡大や新規顧客の獲得に向けた積極的な活動を行っていきます。



来訪者で賑わうHirataブース

Ⅱ. 2020年3月期業績の見通し

2020年3月期 第2四半期

Hirata



※業績予想に修正はございません。

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想	
売上高	77,302		70,000	
自動車関連	32,760		29,000	
半導体関連	25,939		22,000	
家電関連およびその他	16,780		17,000	
その他	1,821		2,000	
営業利益（率）	6,249	(8.1%)	2,300	(3.3%)
経常利益（率）	6,306	(8.2%)	2,200	(3.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益（率）	4,637	(6.0%)	1,400	(2.0%)

通期業績予想の理由および事業計画達成のための施策

- 受注環境が不透明な状況の中、売上高・利益ともに前期を下回る予想。
- 既存の事業領域にとどまらず、グローバルな対応力とこれまでに培ったノウハウを活かし、事業拡大が期待できる新しい市場・顧客の開拓を進める。また、コスト構造の見直しにも取り組み、生産効率改善に向けた最新加工機の導入や新工場建設などの設備投資により、激変する市場環境でも安定した収益基盤の構築に努める。

1株当たり配当金・配当性向 推移

(単位：円)

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期予想
1株当たり配当金	30.00	100.00	125.00 <small>うち記念配当25.00円</small>	125.00	40.00
配当性向 (%)	17.5	16.0	19.5	28.4	30.1

※配当性向は連結ベースです。

配当予想について

弊社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しながら安定した配当を継続していくことを基本としつつ、一方で経営業績に応じた弾力的な配当を実施することも肝要であると考えており、業績、経営環境および財務状況等を総合的に勘案した上で決定しております。

なお、2020年3月期の1株当たりの期末配当は、業績予想等を勘案の上、40円を予定しております。

自動車関連事業

世界の自動車販売台数は、米国で横ばい、中国が微減となる中、新興国が成長をけん引、国内は微減が予測される。弊社は前期、日欧メーカー等より電気自動車（EV）関連生産設備の受注が増加した。引き続き、現状の北米・日本を中心とした市場・顧客に加え、欧州・中国市場への展開にさらに取り組む。

半導体関連事業

期初より有機ELディスプレイの蒸着装置の市場動向は復調傾向にあったが、半導体関連市場は低調に推移した。しかし、5Gへの投資の本格化や車載デバイスなどの需要増の期待もあり、底入れの兆しが見えはじめています。シリコンウェーハ搬送設備案件等の受注確保にさらに注力する。

家電関連およびその他

弊社の主要顧客である高機能家電メーカーについては、次期モデルの設備投資に向けた継続受注に注力する。

Ⅲ. 参考資料

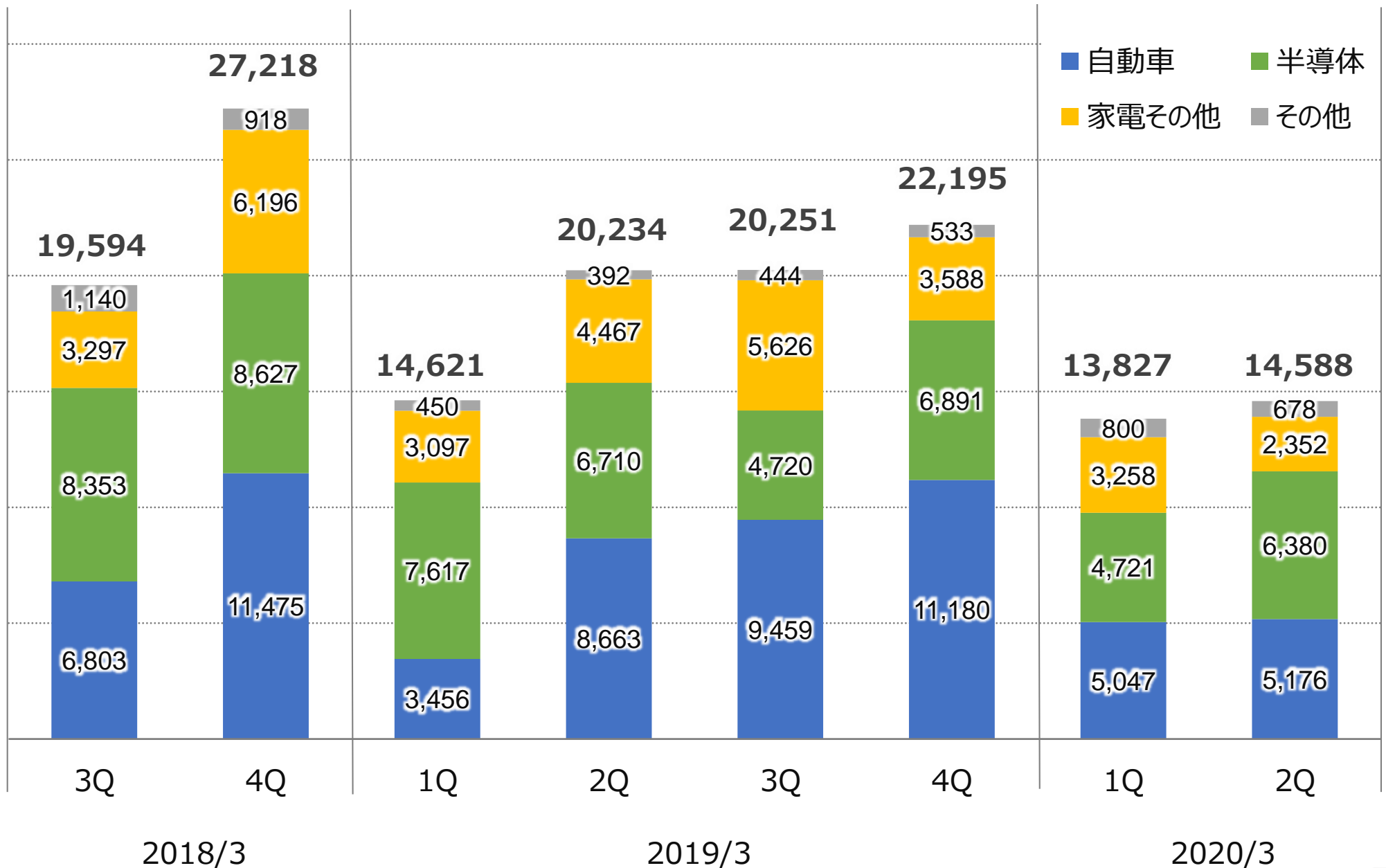
2020年3月期 第2四半期

Hirata



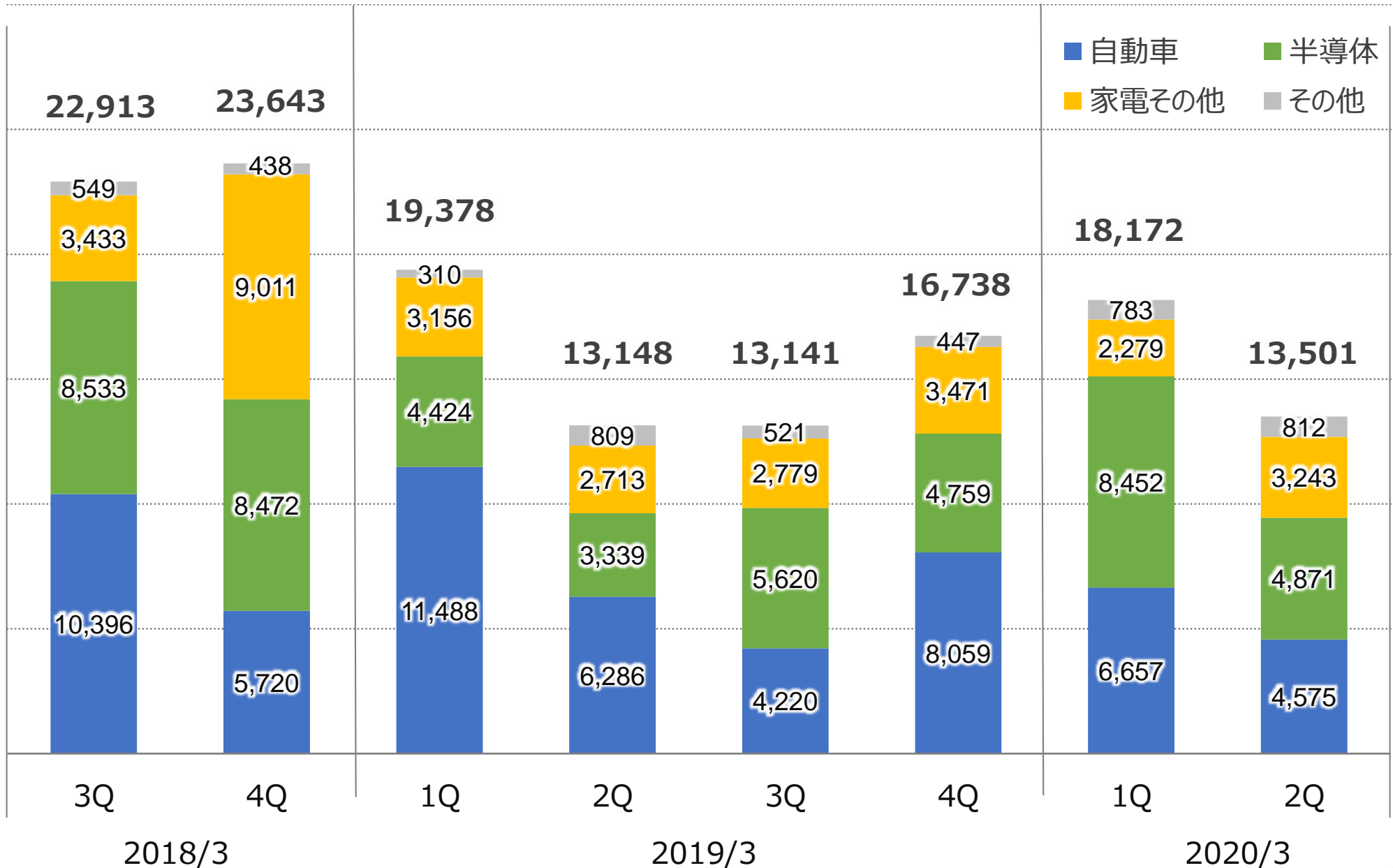
事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



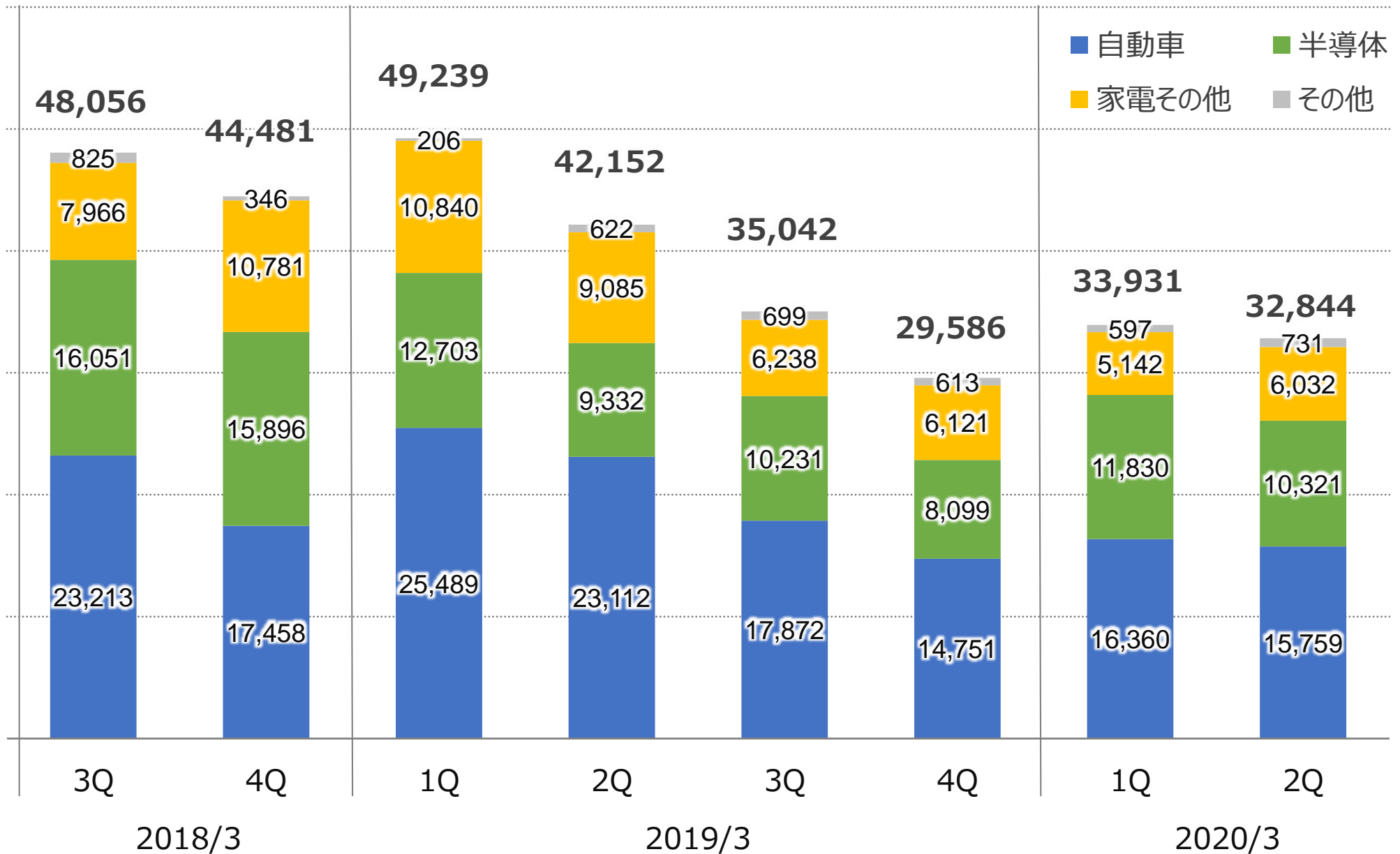
事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)

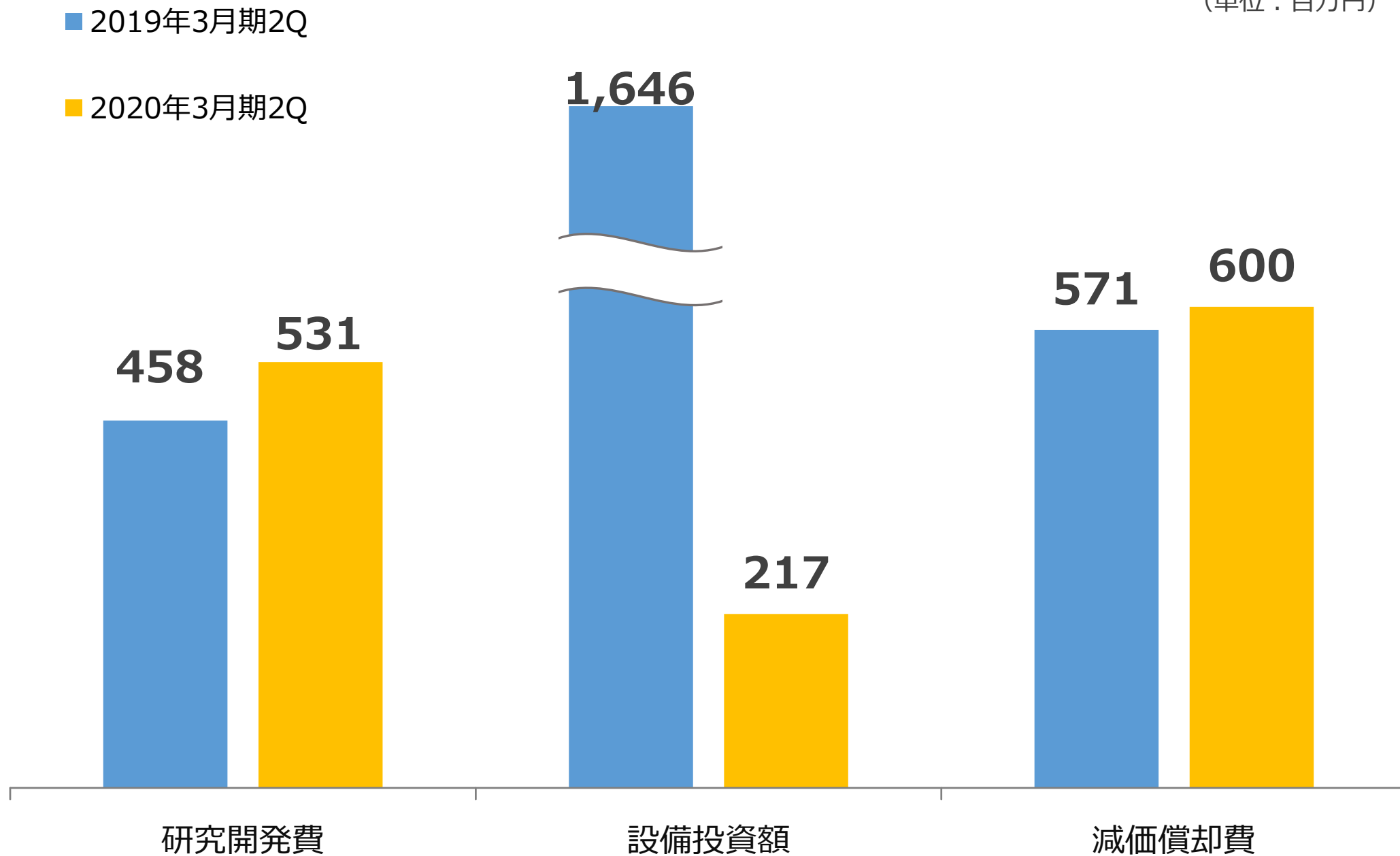


事業部門別四半期受注残の推移

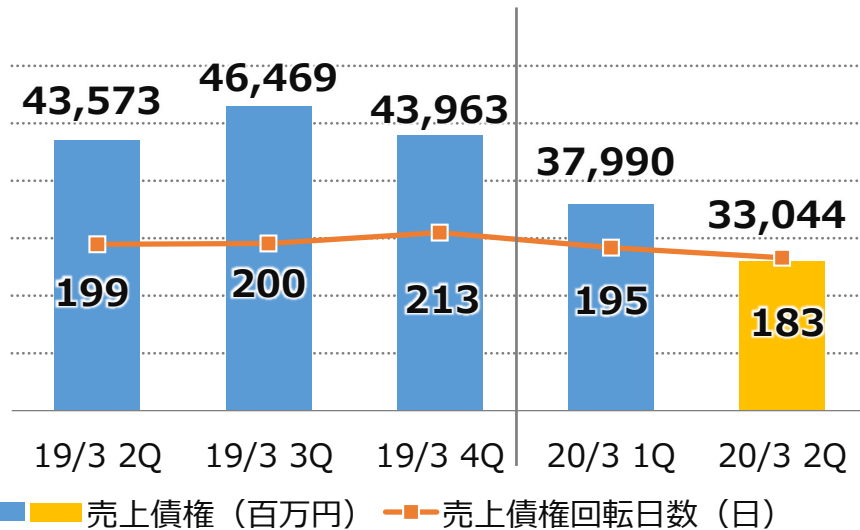
(単位：百万円)



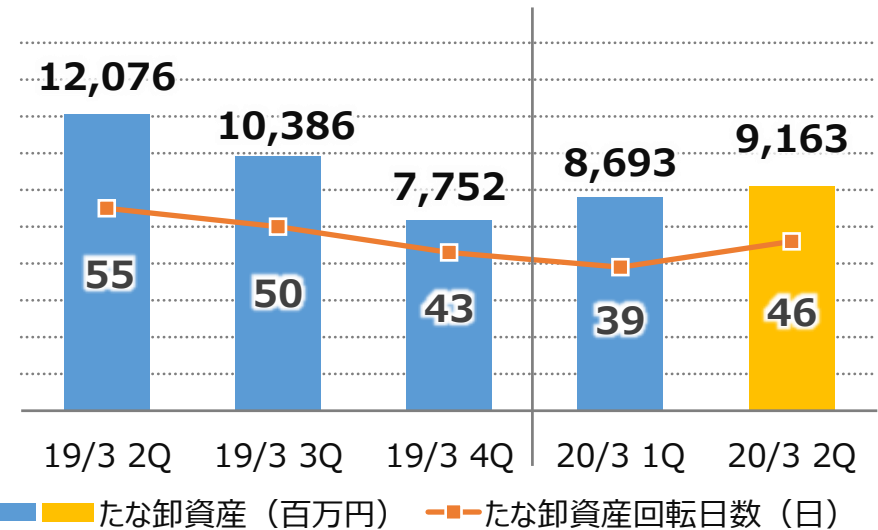
(単位：百万円)



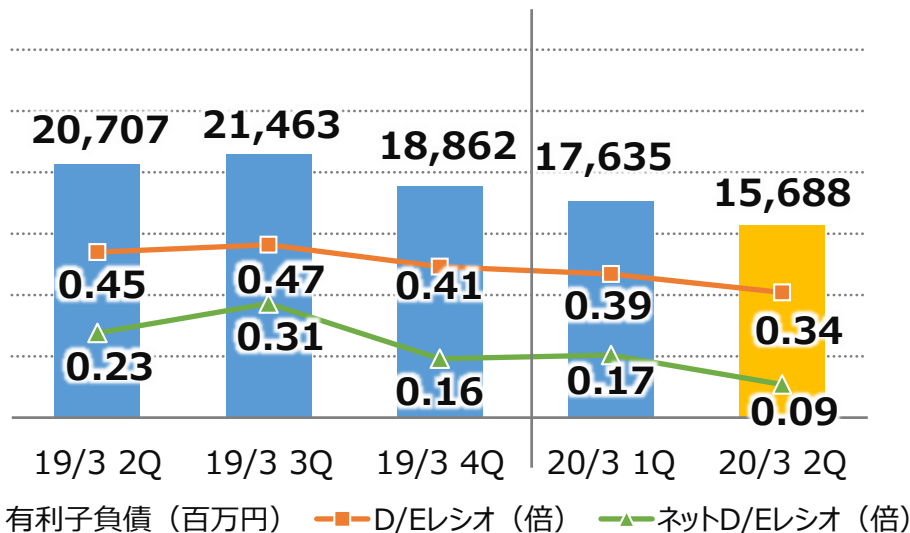
売上債権・売上債権回転日数



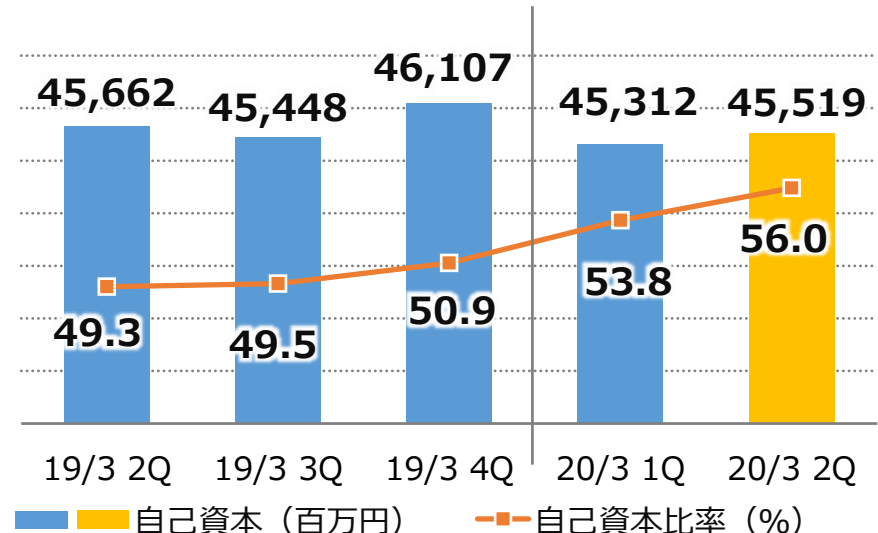
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。